

2021年11月17日

～小児がんの子どもたちを応援するアヒル型ロボット～ My Special Aflac Duck の累計寄贈数が 1,000 羽を突破

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、2021年10月末時点において、小児がんの子どもたちを応援するアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」の病院や支援団体への累計寄贈数が 1,000 羽を突破したことをお知らせいたします。

「My Special Aflac Duck」は、治療そのものやどう向き合うかはもちろんのこと、同世代の子どもと同じような生活ができないことや、大人に囲まれた入院生活などさまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために、米国で開発されたアヒル型ロボットです。当社は、2019年から「My Special Aflac Duck」を小児がん患者の子どもたちとご家族の支援に取り組む病院や支援団体へ寄付する活動を展開しており、合計 55 施設に対しての累計寄贈数が 1,000 羽を超えました。



My Special Aflac Duck

当社は、「生きる」を創るリーディングカンパニーへの飛躍を目指し、最も長くがんと向き合い、最も多くのがんと闘う方々を応援してきた生命保険会社として、これからも小児がんをはじめとするがんに関わる幅広い社会的課題の解決に取り組みながら、すべてのステークホルダーから信頼される会社であり続けるよう努めていきます。

【小児がん患児やそのご家族、医療スタッフからの声(抜粋)】

- 「僕のアフラックダックは『楽男(らくお)』と名付けました。どんな困難も楽々乗り越えていけるように！の願いを込めてです。羽の下側を撫でると楽男が笑うのがとてもかわいくて、楽しい気分になります。」（小児がん患児）
- 「息子が気持ちカードをダックちゃんの胸に当てて色々な気持ちを確認したり、肌触りがよくギュッと抱きしめて話しかけたりしています。早速、入院中の相棒になっています。」（小児がん患児のご家族）
- 「人間の言葉ではない『アヒル語』というところが、素敵なところだと思います。入院している子どもたちは、病気になったことや、病院でのさまざまな経験から、同じように言葉では表現できない思いや、複雑な思いを抱えています。その思いにそっと寄り添ってくれるのが、アフラックダックではないかなと思います。」（三重大学医学部附属病院小児科 CLS* 吉崎 さやか様）

*Child Life Specialist の略で、医療環境にある子どもや家族に、心理社会的支援を提供する専門職。



NEWS RELEASE

〒163-0456 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル



2019年3月29日



～ 小児がんの子どもたちを応援するアヒル型ロボット ～ My Special Aflac Duck の提供について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、米国においてアフラック（米国）とロボット等の開発を手掛けるスタートアップ企業 **Sproutel** 社が共同開発したアヒル型ロボット「My Special Aflac Duck」を日本でも提供します。

My Special Aflac Duck は、治療の辛さはもちろんのこと、同世代の子どもたちと同じように自由に遊んだりすることができないなど、さまざまな課題を抱える小児がんの子どもたちを応援するために米国で開発されたアヒル型ロボットです。米国での開発にあたっては、1年以上の期間をかけて100名以上の小児がんの子どもたち、医療関係者や児童心理学者などの専門家とテストを通して改善を重ねてきました。現在、米国では小児病院などを通じて小児がんの子どもたちへ提供しており、2019年末までに米国内で1万羽の提供を予定しています。

当社は、こうした活動を日本でも展開すべく、関係法令等に従った諸手続きの完了を前提として、これまで当社とともに小児がん支援に取り組んできた団体や病院を通じて、**My Special Aflac Duck** を提供していきます。本年については2団体・7病院と協議のうえ7月以降の提供開始を予定しており、この中で、日本における **My Special Aflac Duck** の受容性や課題を確認しながら来年以降の取り組みを計画していく予定です。

なお、4月20日に東京・お台場で開催する「ゴールドリボンウオーキング2019」にて、**My Special Aflac Duck** の紹介と直接触れ合うことができる専用ブースの設置を予定しています。

アフラックは、ペアレンツハウスや奨学金制度の運営のほか、小児がんに関する啓発活動など小児がんの子どもたちとそのご家族に対する支援に長年取り組んできました。今般、**My Special Aflac Duck** の提供を通じて、小児がんの子どもたちの更なるQOL向上に貢献してまいります。



■ My Special Aflac Duck について



付属のカードをダックの胸元に当てると、ダックがその感情を表現します。子ども達から周囲へ自分の感情を伝えることができます。



やさしくなると、ダックも応えてくれます。



音楽にあわせて踊ります。






ダックが居眠りをしたとき、尾羽を触って起こしてあげることができます。

■ Sproutel 社について

名称	Sproutel 社
事業内容	ロボット等の設計・開発
設立年月	2012年2月
所在地	米ロードアイランド州 (60 Valley St Ste 29, Providence, RI, United States)
代表者	アロン・ホロウィッツ (Aaron Horowitz)

■ 小児がんの子どもたちの支援活動

アフラックは、小児がん経験者が笑顔で暮らせる社会を目指し、以下の活動を展開しています。

ゴールドリボン運動	2006年に企業としてはじめて「ゴールドリボン*運動」に賛同し、ウォーキングイベントや募金活動などを通じて、小児がんと闘う子どもたちへの理解促進や治療率向上に向けた活動を支援しています。	 <p>*ゴールドリボンは小児がんへの支援を表すシンボルマークです</p>
アフラック ペアレンツハウス	小児がんなどの難病のため、自宅から離れた病院で治療を受ける子どもとそのご家族が1人1泊1,000円（患児は無料）で宿泊できる施設です。亀戸、浅草橋、大阪の3棟でこれまで延べ13万人以上の方々に利用いただいています。	 <p>アフラックペアレンツハウス 浅草橋</p>
アフラック 小児がん経験者・ がん遺児奨学金制度	親をがんで亡くした高校生や小児がんを経験した高校生を対象とした返還不要の奨学金制度です。これまでに支援した奨学生は、累計2,641人にのぼり、奨学金給付額は累計で16億円を超えています。	 <p>夢に向かう 君たちへ</p>